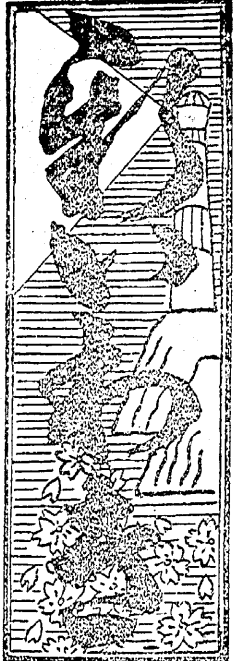


刊夕 日九廿月九



休日 日曜 祭日
一月廿五日 祭日
一月廿六日 祭日
一月廿七日 祭日
一月廿八日 祭日
一月廿九日 祭日
一月三十日 祭日
一月三十一日 祭日
二月一日 祭日
二月二日 祭日
二月三日 祭日
二月四日 祭日
二月五日 祭日
二月六日 祭日
二月七日 祭日
二月八日 祭日
二月九日 祭日
二月十日 祭日
二月十一日 祭日
二月十二日 祭日
二月十三日 祭日
二月十四日 祭日
二月十五日 祭日
二月十六日 祭日
二月十七日 祭日
二月十八日 祭日
二月十九日 祭日
二月二十日 祭日
二月二十一日 祭日
二月二十二日 祭日
二月二十三日 祭日
二月二十四日 祭日
二月二十五日 祭日
二月二十六日 祭日
二月二十七日 祭日
二月二十八日 祭日
二月二十九日 祭日
二月三十日 祭日
三月一日 祭日
三月二日 祭日
三月三日 祭日
三月四日 祭日
三月五日 祭日
三月六日 祭日
三月七日 祭日
三月八日 祭日
三月九日 祭日
三月十日 祭日
三月十一日 祭日
三月十二日 祭日
三月十三日 祭日
三月十四日 祭日
三月十五日 祭日
三月十六日 祭日
三月十七日 祭日
三月十八日 祭日
三月十九日 祭日
三月二十日 祭日
三月二十一日 祭日
三月二十二日 祭日
三月二十三日 祭日
三月二十四日 祭日
三月二十五日 祭日
三月二十六日 祭日
三月二十七日 祭日
三月二十八日 祭日
三月二十九日 祭日
三月三十日 祭日
三月三十一日 祭日
四月一日 祭日
四月二日 祭日
四月三日 祭日
四月四日 祭日
四月五日 祭日
四月六日 祭日
四月七日 祭日
四月八日 祭日
四月九日 祭日
四月十日 祭日
四月十一日 祭日
四月十二日 祭日
四月十三日 祭日
四月十四日 祭日
四月十五日 祭日
四月十六日 祭日
四月十七日 祭日
四月十八日 祭日
四月十九日 祭日
四月二十日 祭日
四月二十一日 祭日
四月二十二日 祭日
四月二十三日 祭日
四月二十四日 祭日
四月二十五日 祭日
四月二十六日 祭日
四月二十七日 祭日
四月二十八日 祭日
四月二十九日 祭日
四月三十日 祭日
五月一日 祭日
五月二日 祭日
五月三日 祭日
五月四日 祭日
五月五日 祭日
五月六日 祭日
五月七日 祭日
五月八日 祭日
五月九日 祭日
五月十日 祭日
五月十一日 祭日
五月十二日 祭日
五月十三日 祭日
五月十四日 祭日
五月十五日 祭日
五月十六日 祭日
五月十七日 祭日
五月十八日 祭日
五月十九日 祭日
五月二十日 祭日
五月二十一日 祭日
五月二十二日 祭日
五月二十三日 祭日
五月二十四日 祭日
五月二十五日 祭日
五月二十六日 祭日
五月二十七日 祭日
五月二十八日 祭日
五月二十九日 祭日
五月三十日 祭日
五月三十一日 祭日
六月一日 祭日
六月二日 祭日
六月三日 祭日
六月四日 祭日
六月五日 祭日
六月六日 祭日
六月七日 祭日
六月八日 祭日
六月九日 祭日
六月十日 祭日
六月十一日 祭日
六月十二日 祭日
六月十三日 祭日
六月十四日 祭日
六月十五日 祭日
六月十六日 祭日
六月十七日 祭日
六月十八日 祭日
六月十九日 祭日
六月二十日 祭日
六月二十一日 祭日
六月二十二日 祭日
六月二十三日 祭日
六月二十四日 祭日
六月二十五日 祭日
六月二十六日 祭日
六月二十七日 祭日
六月二十八日 祭日
六月二十九日 祭日
六月三十日 祭日
六月三十一日 祭日
七月一日 祭日
七月二日 祭日
七月三日 祭日
七月四日 祭日
七月五日 祭日
七月六日 祭日
七月七日 祭日
七月八日 祭日
七月九日 祭日
七月十日 祭日
七月十一日 祭日
七月十二日 祭日
七月十三日 祭日
七月十四日 祭日
七月十五日 祭日
七月十六日 祭日
七月十七日 祭日
七月十八日 祭日
七月十九日 祭日
七月二十日 祭日
七月二十一日 祭日
七月二十二日 祭日
七月二十三日 祭日
七月二十四日 祭日
七月二十五日 祭日
七月二十六日 祭日
七月二十七日 祭日
七月二十八日 祭日
七月二十九日 祭日
七月三十日 祭日
七月三十一日 祭日
八月一日 祭日
八月二日 祭日
八月三日 祭日
八月四日 祭日
八月五日 祭日
八月六日 祭日
八月七日 祭日
八月八日 祭日
八月九日 祭日
八月十日 祭日
八月十一日 祭日
八月十二日 祭日
八月十三日 祭日
八月十四日 祭日
八月十五日 祭日
八月十六日 祭日
八月十七日 祭日
八月十八日 祭日
八月十九日 祭日
八月二十日 祭日
八月二十一日 祭日
八月二十二日 祭日
八月二十三日 祭日
八月二十四日 祭日
八月二十五日 祭日
八月二十六日 祭日
八月二十七日 祭日
八月二十八日 祭日
八月二十九日 祭日
八月三十日 祭日
八月三十一日 祭日
九月一日 祭日
九月二日 祭日
九月三日 祭日
九月四日 祭日
九月五日 祭日
九月六日 祭日
九月七日 祭日
九月八日 祭日
九月九日 祭日
九月十日 祭日
九月十一日 祭日
九月十二日 祭日
九月十三日 祭日
九月十四日 祭日
九月十五日 祭日
九月十六日 祭日
九月十七日 祭日
九月十八日 祭日
九月十九日 祭日
九月二十日 祭日
九月二十一日 祭日
九月二十二日 祭日
九月二十三日 祭日
九月二十四日 祭日
九月二十五日 祭日
九月二十六日 祭日
九月二十七日 祭日
九月二十八日 祭日
九月二十九日 祭日
九月三十日 祭日
九月三十一日 祭日
十月一日 祭日
十月二日 祭日
十月三日 祭日
十月四日 祭日
十月五日 祭日
十月六日 祭日
十月七日 祭日
十月八日 祭日
十月九日 祭日
十月十日 祭日
十月十一日 祭日
十月十二日 祭日
十月十三日 祭日
十月十四日 祭日
十月十五日 祭日
十月十六日 祭日
十月十七日 祭日
十月十八日 祭日
十月十九日 祭日
十月二十日 祭日
十月二十一日 祭日
十月二十二日 祭日
十月二十三日 祭日
十月二十四日 祭日
十月二十五日 祭日
十月二十六日 祭日
十月二十七日 祭日
十月二十八日 祭日
十月二十九日 祭日
十月三十日 祭日
十月三十一日 祭日
十一月一日 祭日
十一月二日 祭日
十一月三日 祭日
十一月四日 祭日
十一月五日 祭日
十一月六日 祭日
十一月七日 祭日
十一月八日 祭日
十一月九日 祭日
十一月十日 祭日
十一月十一日 祭日
十一月十二日 祭日
十一月十三日 祭日
十一月十四日 祭日
十一月十五日 祭日
十一月十六日 祭日
十一月十七日 祭日
十一月十八日 祭日
十一月十九日 祭日
十一月二十日 祭日
十一月二十一日 祭日
十一月二十二日 祭日
十一月二十三日 祭日
十一月二十四日 祭日
十一月二十五日 祭日
十一月二十六日 祭日
十一月二十七日 祭日
十一月二十八日 祭日
十一月二十九日 祭日
十一月三十日 祭日
十一月三十一日 祭日
十二月一日 祭日
十二月二日 祭日
十二月三日 祭日
十二月四日 祭日
十二月五日 祭日
十二月六日 祭日
十二月七日 祭日
十二月八日 祭日
十二月九日 祭日
十二月十日 祭日
十二月十一日 祭日
十二月十二日 祭日
十二月十三日 祭日
十二月十四日 祭日
十二月十五日 祭日
十二月十六日 祭日
十二月十七日 祭日
十二月十八日 祭日
十二月十九日 祭日
十二月二十日 祭日
十二月二十一日 祭日
十二月二十二日 祭日
十二月二十三日 祭日
十二月二十四日 祭日
十二月二十五日 祭日
十二月二十六日 祭日
十二月二十七日 祭日
十二月二十八日 祭日
十二月二十九日 祭日
十二月三十日 祭日
十二月三十一日 祭日

昨日平町會の決議

救済工事指定の二萬三千圓 五千七百圓を起債する

平町が今回の救済事業に新七圓(八名)を原案可決後、川改修費二萬三千圓、原案員から第四小學校建設を配當された着工並に轉任促進及び吉田(重)議員から退職教員の慰勞金贈與に關する決議に附して實行せしむる更正豫算會は既報の諸事業の遂行要望意見如く昨二十八日午後一時半あり同五時閉會したが改修開會同町外二ヶ村水害豫防工事の概要を上れば左記組合から委託の形式の復むの如くである。

△總額二萬三千圓、工費一萬一千圓、土地買収七千五百四十九圓、家屋移轉並に盛土補償料二千七百五十七圓、器具機械費四百七十六圓、雜費七十圓、事務費千四百四十圓、

一と悶着の起りそと 休業同様の平魚市場

第二回の拂込のみを急いで 營業を省みぬ重役に非難

平町字大工町の株式會社平派に「セリ」取引説の二ツに魚市場は打續く不況で業續分れた株主の意見を新重役甚だ上らざる爲め本年五月の營業方針に任せ「セリ」の總會に於て一株五十圓の改めた市業を開始したが依十二圓五十錢拂込みを十五然營業成績思はしからず六圓で金額とする條件の下に七八九の四ヶ月に亘る開始二圓五十錢の追拂完納を決んだ休業状態であるに拘らし従來の「セリ」取引固執す前記第二回拂込の整理の

常識講座

昨本紙の偉い人々欄にもある財力インテリは英のインテリセンス(智慧)から云ふ知識階級のことと同じ様でもインテリアオは内部や内界と云ふ事になる、

富者の及ばぬ一燈に 軍人分會から感謝狀

十一月の明治節を下して 平町字新川町の二名に

平町在郷軍人分會は青訓の差出されたこと更に同町指導並に軍人精神の鼓吹を内に於て三九屋住立屋方の他時局柄の活動は目ざま徒弟永島道雄(二二)君が分しきものあるが去る十九日會幹部連の行き過る跡をの訪問飛行に町民の歡喜を追ふて主人から與へられたしめた愛國機等々の福島號小使鏡の貯金を提供された建造資金割當て寄附募集のことの二ツで年奉公の身際の際の如き分會員を擧げてのから差出された寄附者は平努力に豫期以上の成績を収町にたゞ一名で分會では兩めて愛國機建造に千七百圓者の赤誠を表彰すべく適當を贈つた外滿州派遣軍慰問の方法を考慮中の模様だが金を充て向は軍事關係諸團多分十一月三日の明治節に體に預けてゐるが右寄附金於て感謝狀を贈ることにな募集に當り會員をして感激せしめたものは女の細い腕一つで公共事に美譽の多い新川町に菓子商を營む薄葉かねさんで滿州事變が起るから髪結鏡その他を節約別項所報昨二十八日の平町に於て決議された轉退職

平町の教員 轉退職慰勞

八氏に千餘圓

教員に對する慰勞金は一千餘圓であつたが給與される八氏は左記の如くである、
八百圓、元商業校長吉田利吉(轉)、七十圓、第一校訓導中野監治(轉)、二十圓、同校訓導志賀達平(轉)六十五圓、元第二校長佐藤一(轉)、二十圓、第二校訓導折笠博茂(轉)七十圓、第三訓導野木繁彌(轉)、二十七圓、同校訓導若松道夫(轉)、五十圓、第二校訓導四家安男(退)以上

出資振興の 對策懇談

石城郡からは 諸協會長出席

水戸運輸事務所では財界不景氣による物産移動の緩慢は云ふ迄もない農山漁村の極端なる疲弊に基因するもの少なからずとなし出資振興の策に關して懇談會を主催し來十月五日午前十一時から午後四時まで水戸市役所樓上に地方生産者並指導者又は代表者約六十名の會合を求め鐵道輸送となるべき小口貨物及び貨切扱等に就て親しく打合せを試むる由であるが石城郡農會から諸協會長出席する、

木炭移出商 組合創設

今二十九日平 町で創立總會

濱三郡木炭移出商組合の創設計畫あるは屬報したが委員連の熱心なる奔走で七十名の加入者を見たので今二十九日午前十時半から平町に於て濱木炭同業組合事務所樓上に創立總會を開き規約の制定並に豫算五百十圓を可決し午後三時過ぎ散會した、

偉い人々 (五) 夢之助

マルトモの主人柴田徳治君は意志の人だ。自反而縮雖始つた。兩君共安協だの荷を合はせが先祖の云ふ事だ。御互目説を固持して譲らぬ程に議論が四つに組んで上になり下になり何時勝殘して別れた武田上杉の兩思はれる。柴田君は強い人雄の如く豆腐屋の前に勝負で優しい人だ。

信榮幼稚園の 母の會

今二十九日バブ テスト教會にて

平町材木町のバブテスト教會では今二十九日午後一時から母の會を開催し同教會經營の平信榮幼稚園關係多數の出席あり鹽坂夫人の壓壽司講習とアレン先生の講演に盛會であつた。

俳句 燈下雅談

求思樓 (古)

腐屋の前で大柴會治君と出かつた。突然豆腐屋が雨戸を閉げたので之はしたり安つと別れた。柴田君は意志たと挨拶した後雑談を交はして中々に何時しか議論がに恐縮してしまつた。處が兩君が夢中になつて立ちか過ぎ去つて夜が明けたのであつた。川中島に勝負を比して遜色がないものだ。柴田君は強い人雄の如く豆腐屋の前に勝負で優しい人だ。



産業

牧野改良(二)

村の繁榮は
畜産の振興

而して道府縣の獎勵金は左に掲ぐる仕事に對して交付せられます。

- 一、放牧地、採草地に於ける(いはら)土石其の他障害物の除去に要する器具、機械の購入又は借入費及勞賃、
 - 二、放牧地、採草地に於ける地形の整理に要する器具機械の購入又は借入費、材料費及勞賃、
 - 三、放牧地、採草地に於ける牧野樹林の新植若しくは補植に要する苗木代、肥料費及勞賃、
 - 四、放牧地、採草地に於ける隔障物、水飲場、牧舎灌溉排水設備、牧道その他農林大臣の適當と認むる工作物の新設、改設若しくは移築に要する費用、之れ等改良事業に對する補助率は道府縣で夫々定められるので左が大體左の標準になつて居ります、
- 一、放牧地、採草地に於ける障害物の除去及び地形の整理に要する費用に對しては其の費用の二分の一以内、
- 二、其の他の事業に對しては其費用の五分の二以内獎勵金を受け得るものは前述の改良事業を行ふ者で

あれば牧野組合、畜産組合町村その他地方長官の適當と認むる團體又は個人の内誰でもよいのであります。

佛蘭西料理

・レストラン・サロン

電352 平町田町

スペイン G.H.N 元 詰
甘味 葡萄酒
ゴルフ ボート ワイン
1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

移轉のお知らせ

從來の館で手狭であり尚ほ新館建築の計畫もありましたので左記に移轉いたしました、

美術専門 齊藤寫眞館
元公會堂池の端 平町字大町五
電話(呼六三七)

諸毒下しの大妙藥

安流丸

平町五丁目角
特約山野邊藥局

服んで良く効く
(絶対に胃腸を害しません)

淋病と
消渴の
特效藥 濟淋

本舗責任製劑 水野藥局
平町一丁目 振替貯金口座
仙一八一八七六

お醬油は

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命

代理店

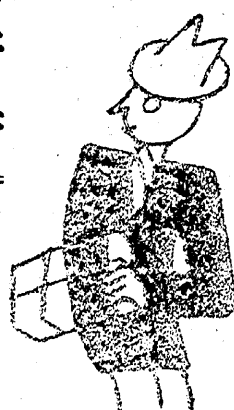
山崎合名會社
電話(本島) 二一七〇
電話(本島) 二一七〇

山崎與三郎

模範
裁縫

高島屋洋服店
平町駅前 電話三八六番

洋服の
御用命は
高島屋へ



新柄着荷

食堂設備
室内裝飾
お好みの設計製作

御用命直りに專屬の技術員を差遣し破格的大勉強で調へ致します



丸ほん家具店
平町三丁目電話三五九番

朝日

煙突は
石綿セメント製
朝日煙突
絶対によい
経済的で
火災の心配がない
金屋商店

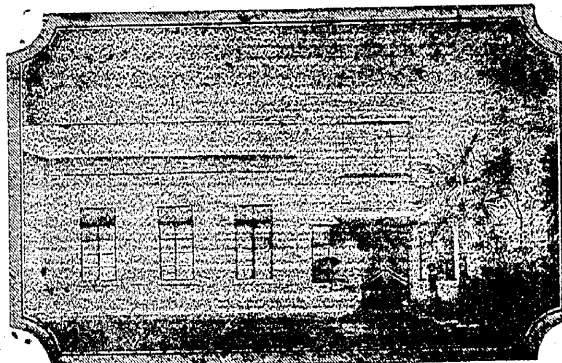
内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇
平町南町
(電二五八番)

入院
應需

壁材料の相談は當店



戸障子用具類
石炭、セメント
春光壁、角又、
清光塗料、
人造石、色砂、
レース、麻葛、
マーブル
マノール防水劑
クレオソート、
コールドール、

大谷健材商店 電話三六六番

洋酒と食料品は

!! 新川町の
上總屋へ

特賣 (三十三度) 一四十四銭

仲町に洋服屋が出来ました

工賃本位が弊店のモットー

迅速 他店を許さぬ勉強

信夫屋洋服店
店主 齋藤 一平